

国分寺句会
2016年新年句会 自選一人一句

初春や ^{きよまさいど} 清正井の ^{こんこん} 滾滾と	中村 憲一 (豊島) ※
もみじの手しかと合わせし初詣	黒川 清虚 (国分寺)
遠くあり近くもありて除夜の鐘	大島 薫 (清瀬)
初夢や思ひ出の人現るる	佐竹茂一郎 (立川) ※
キューポラの先くつきりと年迎ふ	梶原 由紀 (国分寺)
どんど焼去年の妖怪混ぜて焚く	清水 星人 (国分寺)
塩引の鮭乾きゆく黒き梁	吉松 舞九 (国分寺)
枝垂れたる蘭玉懐かし母郷かな	千原 延居 (国分寺)
来し方は去年に終りぬ初日の出	野部 明敬 (国分寺)
共白髪五十廻りて七種粥	押山うた子 (武蔵村山)
穏やかに正月の凧みぎひだり	真宅 泉舟 (国分寺)
幸せは小さきこそ良し福寿草	館 爽風 (国分寺)
鉄瓶の湯を注ぎ入る福茶かな	藤木ひろみ (中野)
鴉ふたつ飛んでこよなき初御空	細見 道子 (講師)

(注) 配列は清記番号順 名前の※は欠席投句